

## 2019（令和元）年度 国立公園満喫プロジェクト有識者現地視察箇所一覧

公園名	視察委員	実施日
阿寒摩周	涌井委員	2月12日（水）～13日（木）
十和田八幡平	アトキンソン委員	2月19日（水）～21日（木）
伊勢志摩	キャンベル委員	1月25日（土）～26日（日）
阿蘇くじゅう	石井委員	2月12日（水）～14日（金）
霧島錦江湾	野添委員	12月4日（水）～6日（金）
日光、大山隠岐、慶良間諸島については、3月以降の視察を予定		

# 新宿御苑における魅力向上の取組状況

参考資料 2

2020年を見据え、旧皇室庭園としての歴史を踏まえつつ、これまでの高評価のトレンドを維持しながら、

①民間活用等による「更なる質の向上」と「年間を通じた利用の促進」、

②環境行政に関する積極的な情報発信

を進め、新宿御苑の一層の魅力向上を図り、外国人旅行者を含めた来園者の満足度を高める。

## 1.開園時間の延長・入園料金の改定

- 2019年3月19日から  
・開園時間を延長(16:30⇒18:00)  
※7/1～8/20は19:00まで  
※閉園時間延長は9/30まで  
・入園料金を改定  
大人200円⇒500円  
こども50円⇒無料化 等



新宿御苑の夕景

- 2019年10月22日～27日早朝開園の試行(9:00⇒7:00開園)

## 2.快適な利用環境の整備

- レストハウスにおける民間カフェ(2020年3月下旬オープン)



レストハウス



- キャッシュレス決済の試行(2019年11月下旬入園券事前購入開始、2020年2月下旬マルチ決済端末試験導入)
- 旧洋館御休所(国指定重要文化財)の開放拡大
- 多言語によるわかりやすい案内標識の充実
- レストラン、休憩所、トイレ施設等のユニバーサルデザイン化の一層の推進、Wi-fi環境の充実、ユニバーサル対応ガイドアプリの試行 等

## 3.夜間イベント等の実施

- 民間の夜間イベント等への開放ルールの策定・公募(2019年夏より公募開始)
- 桜開花時期のライトアップ(2019年春)
- 菊花展開催時・紅葉時期のライトアップ(2019年秋)



八重桜のライトアップ

## 4.新宿御苑の魅力向上と一体となった国立公園の情報発信(2019年度中)

- 新宿御苑インフォメーションセンターを中心に、国立公園等に関する展示設備及びPRコンテンツの作成、国立公園案内カウンターや物販設備の設置  
新宿御苑ガイドブックやHPの充実
- 試行的ガイドツアーの実施 等



インフォメーションセンター



【令和2年度予算（案） 17,871百万円（16,253百万円）】

【令和元年度補正予算（案） 7,715百万円】

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園等の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

## 1. 事業目的

- ① 日本の国立公園のブランドイメージを確立し、インバウンドの誘客を促進
- ② インバウンド対策を通じ、外国人とともに日本人も国立公園や国民公園の魅力を満喫できるようにする
- ③ 利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし消費単価や満足度の向上するための施策を実施し、地域に経済効果をもたらし、一層の自然環境の保全への再投資を促進

## 2. 事業内容

\* : 国際観光旅客税を活用した事業

平成28年3月に政府（議長：内閣総理大臣）がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、**2020年に国立公園訪日外国人利用者数を年間1000万人**とする目標を掲げている。**2018年の当該利用者数は約694万人**となり、**利用者数の更なる増加と受入環境整備の強化、満足度の向上**に向け、国立公園を磨きあげる以下の取組を実施する。合わせて、国民公園の魅力向上を図る。

- ・ **滞在環境の上質化\*** : 利用拠点の滞在環境の上質化、多言語解説の整備・充実
- ・ **魅力あるコンテンツづくり\*** : アクティビティ等と組み合わせたグラブリング、国立公園ならではの「食」やナイトタイムを生かしたツアー等の造成、野生動物観光の促進。ビジターセンターのアウトドア対応機能強化とデジタル技術を活用した展示促進
- ・ **基盤的な利用施設の整備／長寿命化** : 登山道の再整備、キャンプ場リニューアル等
- ・ **受入環境の整備** : ガイド等の人材育成、利用者負担による保全の仕組みづくり等
- ・ **海外への情報発信** : 旅行博等への出展、JNTOとの連携によるプロモーション強化\*等
- ・ **新宿御苑や京都御苑の魅力向上\*** : 歴史的遺構の整備や体験型コンテンツの造成等

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業／補助事業／交付金
- 請負先 民間事業者・団体／都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

## 4. 事業イメージ



廃屋撤去跡地の新たな民間事業導入、景観整備



(イメージ) デジタル展示  
デジタル技術の活用



グラブリングや「食」、文化・歴史等の国立公園の資源活用によるコンテンツづくり



Uni-voiceコードによる多言語解説



アドベンチャートラベル層に向けた  
キャンペーン展開（JNTOとの連携）



新宿御苑におけるバック  
ヤードツアーの造成

お問合せ先： 環境省自然環境局総務課：03-5521-8672 / 国立公園課：03-5521-8277 / 国立公園利用推進室：03-5521-8271

／自然環境整備課：03-5521-8280 / 野生生物課：03-5521-8282

## 国立公園の磨き上げ

### 利用拠点の滞在環境の上質化

外国人旅行者の満足度向上、長期滞在促進のため、

- 地域で策定する利用拠点計画に基づき、廃屋撤去、既存施設のリノベーション、まちなみ改善等、利用拠点の面的な再生を推進



- 核心的な景観地の利用施設改修を支援



### 魅力あるコンテンツづくり

- 上質な宿泊体験、アクティビティ、食事等を組み合わせた外国人旅行者にとって魅力あるグランピングの推進



- 地域独自の自然・文化等のストーリーを伝えることによる、国立公園ならではの「食」等の魅力向上

- 野生動物の保護の現場と屋外の野生動物の観察を組み合わせたストーリー性のあるツアー開発の支援



- 国立公園ならではの魅力ある自然・文化・歴史を楽しめるナイトタイムコンテンツの造成を支援



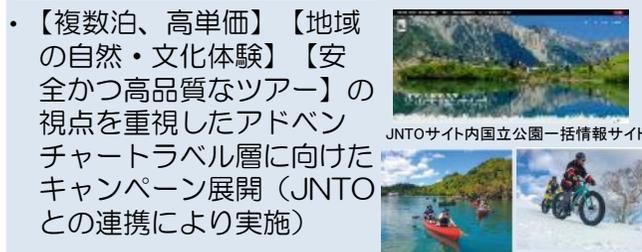
### 国立公園の魅力発信

- デジタルサイネージ等において、アクティビティ等の情報を一元的に多言語で提供



(イメージ) デジタル展示

- 国立公園の他地域へ誘導するために、インバウンド利用が多く、効果が期待出来る地区にデジタル展示を導入



## 国民公園の魅力向上

### 新宿御苑における取り組み



- 武家屋敷、皇室庭園としての歴史・文化を発信
- ネイティブ監修によるガイドツアーの造成

### 京都御苑における取り組み



- 総合案内所(閑院宮邸跡)の機能強化や拾翠亭(茶室)利用拡充のための環境整備
- AR(拡張現実)による歴史的遺構解説

### 多言語解説の整備・充実

- 全国34国立公園等を対象に、案内板・展示等における英語・中国語等の多言語解説整備を加速



## ねらい

- 目標まで1年半となる中で、**従来からの取組を着実に実施**するとともに、2021年以降の取組方針について、2019年度～2020年度初めにかけて議論をし、方向性をある程度定めておくことで、**2021年当初からも切れ目なく取組が実施できるようにすることが重要**。
- 2019年までの取組状況や成果、それを踏まえた課題や2021年以降に取り組むべき事を整理し、**有識者よりアドバイス**をいただきながら、**2021年以降の取組の方向性を検討**する。

## 検討の流れ・スケジュール（案）

2019年度	9月：2021年以降の方向性の検討の流れ、主なポイントにかかる意見交換（ <b>第11回会議</b> ） ↓ 2019年までの取組状況と成果、課題の整理（テーマ別・8公園別を実施） ↓ 年度末：2021年以降の取組方針の議論①（ <b>第12回会議</b> ）	第14回以降 有識者会議 を開催予定
2020年度	春：2021年以降の取組方針の議論②（ <b>第13回会議</b> ・中間報告） ↓ プロジェクト全体の取組状況と成果とりまとめ ↓ 年度末：2021年以降の取組方針のとりまとめ 2020年目標に対する結果（訪日外国人国立公園利用者数）、最終評価	

## 方向性検討にあたって意見をいただきたいポイント

- **取組成果の評価指標**
  - ◆ 2021年以降、国立公園において目指すさらなる高みとは
  - ◆ 高みを目指す上での指標
- **プロジェクト推進のための枠組み**
  - ◆ 先行的、集中的に取り組んできた8公園の役割・継続して行うべきこと
  - ◆ +3公園を含めた国立公園全体で取り組むべきこと
- **2021年以降プロジェクトで追加すべきこと・取り組むべきこと**

# 国立公園訪日外国人利用者数の推計について

参考資料6

当推計は、観光庁「訪日外国人消費動向調査(全国調査)」の調査票情報を利用し推計したもの、具体的な推計手順は以下のとおり。  
 ①訪日外国人消費動向調査の「訪問地選択コード」のうち、国立公園内の観光地等を抽出(880の訪問地選択コードのうち139を抽出)  
 ②訪日外国人消費動向調査における訪問地ごとの選択率(当該訪問地の回答数/有効回答数)を算出。  
 ③訪日外国人の母集団構成に合わせるため、上記②について国籍・地域別及び出国港別ウェイトバック\*を実施(平成29年以前は国籍・地域別ウェイトバックのみ。)  
 \*日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」及び法務省「出入国管理統計」をウェイトとして使用。  
 ④JNTO「訪日外客数」の総数に、上記③のウェイトバック後の選択率を乗じ、推計。

公園名	訪日外国人利用者数										(参考)推計外国人延べ宿泊者数(千人泊)				
	H27		H28		H29		H30			H29	H30	前年増減(%)			
	推計実利用者数*1(千人)	標準誤差率(%)	推計実利用者数*1(千人)	標準誤差率(%)	推計実利用者数*1(千人)	標準誤差率(%)	推計実利用者数*1(千人)	前年増減(%)	標準誤差率(%)				(参考)推計実利用者数(95%信頼区間)*2(千人)		
1 利尻礼文サロベツ	5	31.6%	14	21.1%	10	26.9%	13	35.5%	26.6%	6	~	20	0.07	0.05	-31.3%
2 知床	21	15.4%	28	14.5%	20	18.7%	38	84.3%	15.8%	26	~	49	2	3	31.9%
3 阿寒摩周	63	8.9%	58	10.2%	57	11.2%	58	2.4%	12.7%	44	~	72	102	130	27.7%
4 釧路湿原	34	12.0%	27	15.0%	39	13.5%	42	8.1%	15.0%	30	~	54	0.03	0.07	180.0%
5 大雪山	64	8.8%	83	8.5%	60	10.9%	80	32.5%	10.8%	63	~	97	109	111	1.4%
6 支笏洞爺	688	2.6%	827	2.7%	901	2.8%	1,068	18.4%	2.9%	1,006	~	1,129	1,517	1,405	-7.4%
7 十和田八幡平	7	26.7%	22	16.6%	19	19.5%	29	55.8%	17.9%	19	~	40	55	74	33.6%
8 三陸復興	10	22.4%	16	19.2%	15	21.6%	13	-14.8%	26.9%	6	~	20	0.6	0.2	-65.3%
9 磐梯朝日	0.5	100.0%	4	39.4%	9	27.4%	6	-36.7%	39.6%	1	~	11	23	24	3.2%
10 日光	190	5.1%	241	5.0%	271	5.1%	304	12.2%	5.5%	271	~	337	72	93	29.9%
11 尾瀬	-	-	2	53.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 上信越高原	214	4.8%	265	4.7%	322	4.7%	341	5.7%	5.2%	306	~	376	74	71	-3.5%
13 秩父多摩甲斐	19	16.2%	22	16.5%	10	26.7%	11	12.4%	29.0%	5	~	18	5	5	-11.0%
14 小笠原	-	-	0	133.5%	-	-	2	-	72.4%	0	~	4	-	-	-
15 富士箱根伊豆	2,341	1.4%	2,577	1.4%	2,580	1.6%	2,991	15.9%	1.7%	2,892	~	3,090	1,792	2,325	29.8%
16 中部山岳	338	3.8%	351	4.1%	382	4.3%	376	-1.5%	5.0%	339	~	413	123	106	-14.1%
17 妙高戸隠連山	8	24.2%	6	32.5%	13	23.4%	14	9.4%	25.7%	7	~	21	56	35	-36.5%
18 白山	3	40.8%	1	66.3%	2	68.3%	4	147.4%	49.8%	0	~	7	0.5	6	1246.4%
19 南アルプス	-	-	1	93.6%	2	57.2%	1	-69.0%	117.9%	0	~	2	0	0	0.0%
20 伊勢志摩	33	12.2%	61	9.9%	76	9.7%	49	-35.6%	13.9%	36	~	62	80	82	2.5%
21 吉野熊野	53	9.7%	59	10.1%	67	10.3%	63	-5.9%	12.2%	48	~	78	93	61	-34.3%
22 山陰海岸	32	12.4%	50	10.9%	43	12.8%	41	-5.5%	15.1%	29	~	53	82	82	0.0%
23 瀬戸内海	296	4.1%	310	4.0%	387	4.3%	676	75.0%	3.7%	627	~	725	223	210	-5.6%
24 大山隠岐	6	28.9%	14	20.8%	11	25.5%	5	-57.0%	44.7%	1	~	9	13	9	-30.8%
25 足摺宇和島	0.5	100.0%	5	35.4%	5	38.3%	1	-85.9%	117.3%	0	~	2	8	4	-44.0%
26 西海	55	9.5%	74	9.0%	56	11.3%	45	-18.9%	14.4%	32	~	58	0.09	0.1	49.8%
27 雲仙天草	28	13.2%	29	14.4%	25	16.8%	23	-10.4%	20.4%	14	~	32	17	10	-40.5%
28 阿蘇くじゅう	682	2.7%	675	2.9%	926	2.7%	1,034	11.7%	3.0%	974	~	1,094	298	356	19.5%
29 霧島錦江湾	71	8.3%	79	8.7%	129	7.4%	142	10.7%	8.1%	120	~	165	86	91	5.5%
30 屋久島	10	22.4%	17	19.0%	25	16.8%	17	-31.7%	23.4%	9	~	25	0.3	2	583.3%
31 奄美群島	-	-	-	-	6	35.0%	2	-73.0%	77.3%	0	~	4	0.2	0.1	-20.4%
32 やんばる	-	-	-	-	-	-	22	-	20.8%	13	~	31	4	5	-38.3%
33 慶良間諸島	-	-	-	-	-	-	27	-	18.5%	18	~	37	31	47	50.8%
34 西表石垣	12	20.4%	14	20.8%	14	22.7%	32	129.5%	17.2%	21	~	42	28	58	107.2%
合計(選定された8公園*3)	1,052	-	1,150	-	1,488	-	1,649	10.8%	-	1,574	~	1,724	737	882	19.7%
合計(各公園計)	5,284	0.8%	5,932	0.9%	6,482	0.9%	7,569	16.8%	1.0%	7,425	~	7,713	4,895	5,407	11.8%
合計(推計実利用者数)	4,902	0.9%	5,457	0.9%	6,001	1.0%	6,940	15.7%	1.0%	6,800	~	7,080	-	-	-
訪日外客数全体*4	19,737	-	24,039	-	28,691	-	31,192	8.7%	-	-	-	-	-	-	-

…年ごとの上位10公園  
 …参考値\*5

(訪日外国人利用者数の推計値についての注意点)  
 \*1 推計実利用者数:当該国立公園を訪れた実際の利用者数の人数。1人の利用者が同一公園内の複数地点を利用して1人と数える。また、合計(選定された8公園)及び合計(各公園計)は、1人の利用者が2つの公園に訪れると2人と数え、合計(実利用者数)は、1人の利用者が複数の公園を訪れると1人と数える。千人単位で四捨五入している。  
 \*2 95%信頼区間:同じ母集団の標本調査を100回行うと、そのうち95回はこの区間の中に母平均が含まれる。  
 \*3 国立公園満喫プロジェクトにおいて先行的・重点的に取組を進めることとされた公園。阿寒摩周国立公園、十和田八幡平国立公園、日光国立公園、伊勢志摩国立公園、大山隠岐国立公園、阿蘇くじゅう国立公園、霧島錦江湾国立公園、慶良間諸島国立公園。  
 \*4 訪日外客数全体:出典:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」  
 \*5 標準誤差率が30%以上の公園については、サンプル数が少なく信頼性が低いので、参考値とする。取り扱いには十分注意し、転載や二次使用する際には、信頼性の低い参考値であることを明記し、その旨を理解して使用すること。(特に、「訪日外国人消費動向調査」の調査対象空港が少ない場所においては、捕捉率が低くなっている可能性がある。)

※平成29年以前の「慶良間諸島国立公園」及び「やんばる国立公園」は、「訪日外国人消費動向調査」の訪問地選択コードに該当する地点が無かったため、推計対象外。  
 ※平成27年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」・「南アルプス国立公園」、平成29年の「尾瀬国立公園」・「小笠原国立公園」及び平成30年の「尾瀬国立公園」は、標本数が0(欠損)のため推計不可として扱った。  
 ※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(推計外国人延べ宿泊者数(参考)についての注意点)  
 ※延べ宿泊者数:当該国立公園内の宿泊施設の利用者数の合計人数(子供や乳幼児を含む)。1人の利用者が複数の宿泊施設を利用すると重複して計上される(例:1人の利用者が3つの施設を利用すると3人泊)。  
 ※「尾瀬国立公園」及び「小笠原国立公園」は、標本数が0のため推計不可として扱った。  
 ※この推計は、「宿泊旅行統計調査」(観光庁)のデータを利用し推計したもの。推計にあたっては宿泊旅行統計で用いられている母集団名簿の内、国立公園区域内に含まれている宿泊施設を抽出して実施した。このため、特に国立公園区域内に存在する宿泊施設が少ない国立公園については、地域の宿泊実態との誤差が大きい可能性がある。  
 ※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

国立公園満喫プロジェクト有識者会議  
委員名簿

<敬称略・五十音順>

【学識者】

ロバート キャンベル（国文学研究資料館長）

わくいしろう  
涌井史郎（東京都市大学特別教授） ※座長

【観光関係者】

いしいたる  
石井 至（株式会社石井兄弟社社長）

えざききく  
江崎貴久（旅館海月女将、有限会社オズ代表取締役）

デービッド・アトキンソン（小西美術工藝社社長）

ほしのよしはる  
星野佳路（星野リゾート代表）

【ジャーナリスト・ライター】

のぞえ  
野添ちかこ（温泉と宿のライター）